

教育シンポジウムと地域教育懇談会

〈内は収録した『情報』・刊行物

1. 研究所主催のシンポ

名 称	実 施 日	テーマおよび実施内容
新潟県の暴力・非行を考えるシンポジウム 〈関連「教育情報」創刊号〉	・1983年8月6日	報告者：上杉俊孝（中学校）、三条美恵子（保母）、松井良枝（小学校）、小島寿夫（高校）
「いじめ・体罰」シンポジウム 〈関連「教育情報」NO.8・特別号〉	・1985年11月9日	ところ：新潟中央公民館
「学校・父母・地域を結ぶ子育て教育」シンポジウム ・1987年6月28日	・1987年6月28日	ところ：長岡 中越婦人会館 パネラー：高橋武昌、上杉俊孝、足立定夫、深沢宏明、 講演：村山士郎（大東文化大学）
天皇制問題シンポジウム ・1988年12月4日	・1988年12月4日	第1回 万代荘 報告 1：大津浩「象徴天皇と国民主権」 2：芳井研一「天皇と民衆」 3：八木三男「天皇制と祭祀」
・1989年2月1日	・1989年2月1日	第2回 市教組会館 報告 1：天皇の死去をめぐる新潟の状況 2：小林昌二「紀元節と天皇制」 3：赤澤計真「世界史の中の天皇制」
・1990年7月7日	・1990年7月7日	第3回 新潟市中央公民館 報告1：八木三男「即位儀礼について」 2：糟谷憲一「植民地支配と天皇制」
・1990年9月14日	・1990年9月14日	第4回 講演：佐藤伸雄（歴教協）「大嘗祭について」
・1991年2月11日	・1991年2月11日	第5回 報告1：五十嵐公「近代教育と天皇制」 2：甘粕健（新潟大学）「『天皇陵問題』と科学的な古代史研究」
研究所研究集会 創立10周年記念 (第8回) 〈「教育情報」NO.42〉	・1995年2月19日	ところ：新潟市中央公民館 100人参加 テーマ：「ゆれる家族」 基調報告：八木三男 記念講演：中沢正夫「精神科医からみた家族」 パネルディスカッション 坂本典子「今家族が示す多様な状況を考える」 竹内光男「障害を持つ子を中心に家庭・仲間・地域づくり」 高橋武昌「もっとも大切な小さな民主主義を家庭の中に」 コーディネーター：八木三男
新潟県の子育て百科出版記念 シンポジウムとレセプション ・1997年6月1日 〈「教育情報」NO.6・47・51〉	・1997年6月1日	ところ：新潟伊勢丹百貨店7F ○講演：新潟県の子育て百科について 講師：牧征名「子育て百科の方法と意味」 ○シンポジウム：「新潟県の子どもの心身の発達について」 コーディネーター：山崎健 パネラー：熊谷直樹（黒崎高校）、村尾志乃英（こまくさ乳児院）、近藤明彦（弁護士）、田口孝（養護教諭） ○レセプション

名 称	実 施 日	テーマおよび実施内容
シンポジウム「小学1年生」 ＜「教育情報」NO.58＞	・1999年3月7日	報告者： 片岡弘「小学1年生の生活実態と意識調査」 丸山初美「保育の実情と就学前児」 高橋武昌「担任が見た小学1年生」 立石由美「越前浜・角田浜のこども」 横山英子「3人の母親として」
今日の歴史認識問題の本質を考える (設立30周年記念シンポジウム) ＜「教育情報」NO.116＞	・2014年6月22日 参加41名	ところ：新潟市総合福祉会館 講師：藤野豊（敬和学園大学教授） 「尖閣湾・慰安婦・竹島問題をグローバルに見る」 講師：何為民（敬和学園大学特任准教授） 「中国から見た日本の歴史歴史問題とこれから」

B

研究所研究集会

1987年～

★ 第1回研究所研究集会

- 1、期日 1987・2・21～22
- 2、会場 新潟会館
- 3、テーマ 「新潟県における地域と教育」
- 4、内容

基調報告 「にいがた県民教育研究所と地域」 八木三男（副会長）

記念講演 「子育て協同組合論」 藤岡貞彦（一ツ橋大）

研究・実践報告

- ①「新潟県における子どもの人権」 足立定夫（弁護士）
- ②「新潟市の保育運動」 丸山初代（市保連副会長）
- ③「新潟の農協労働運動と教育」 佐藤一弥（農協労連書記長）
- ④「新潟県の高次教育『正常化』運動と教育」 長井芳朗（新津高校・教諭）
「教師の成長と教員養成の課題」 黒川勝己（新潟大）

★ 第2回研究所研究集会

- 1、期日 1988・2・20～21
- 2、会場 ホテル湖畔
- 3、テーマ 「新潟における地域と教育」
- 4、内容

基調報告 「臨教審と地域教育運動」 八木三男（副会長）

研究・実践報告

- ①「新潟県における開発と農村の変貌」

西山文四郎（農業・農協問題研究所
新潟県支部代表代理）

- ②「東工業港開発と子どもの危機」 木村隆利（事務局長）
- ③「大江山の住民自治と教育」 高橋武昌（新潟市教祖書記長）
- ④「医療労働者の子育て」 渡辺しき子（新潟市民病院）
- ⑤「子どもをどう見るか」 山崎徹（分水北小）
- ⑥「今学校はどうなっているか」 阿部好策（新潟大）

*以上の第1回～第2回は全体会で報告が行なわれ、同一会場で討論を行なうという形をとったが、参加者は一方的に聞くだけという傾向が強く、第3回からは、小テーマを設け分科会形式をとることになった。

★ 第3回研究所研究集会

- 1、期日 1989・2・4～5
- 2、会場新潟県土地改良会館
- 3、テーマ 「学校と文化」
- 4、内容

基調報告 「日本人の子ども観と学校」 八木三男（副会長）

記念講演 「学校とテレビ・ファミコン」 汐見稔幸（東京大）

映画 「怒りの三宅島」

分科会報告者

- ① [家庭] 「家庭の文化と子育て」 坂本典子（新潟大）
「食文化と子どもの体」 渡辺勇（柏崎市半田小）
「雪国の子どもの遊び」 片岡弘（所員）

- ② [地域] 「おやこ劇場運動」

後藤幸雄（亀田おやこ劇場事務局長）
「校外子ども組織」

手島勇平（聖籠町社会教育主事）
「干溝の学校文化」
大平寛一（干溝町町議会議員）

③ [学校]

「テレビ・ファミコンと子ども」
八幡明子（紫雲寺小）
「音楽教育」 立石由美（味方小）
「進学校における授業内容」
三ッ井富士夫（江南高）
「学閥問題」 野沢勲（所員）

★ 第4回研究所研究集会

- 1、期日 1991・2・16～17
- 2、会場 土地改良会館
- 3、テーマ 「市民が教育内容を問う」
- 4、内容

基調報告 「市民が教育の内容を問う」
八木三男（所長）

記念講演 「文化協同と教育運動」
佐藤一子（埼玉大）

特別報告

- ①「自然と子ども」
富樫繁春（荒川中）
- ②「アメリカ留学体験から見た日本の高校生活」
品田絹江（高校生）

分科会

- ① [通知表と『内申書』]
「教育実践にとって教育評価とは何か」
か 深沢広明（新潟大）
「指導要録」「調査書」は・・・
長谷川正也（猿橋中）
「成績評価への親の疑問」
広瀬喜代子（主婦）
「高校入試での『調査書』の扱い・・・」
三ッ井富士夫（江南高）

② [日本の学校と外国の学校]
「中国の学校と日本の学校」
艾暁新（高校生）

「私の受けた教育と日本の学校」
ロビン・シモンズ（専門学校講師）
「日本の学校の経験から」
キース・ファリス（南イリノイ大）

③ [おやじの出番です]

「家庭における父親の責任を考える」
富樫厚彦（父親の立場）
「今、父親の出番」
大縫加津志（父親の立場）
「母親の立場から」
小林静子（母親の立場）

④ [緑の中の子どもたち]

「すばらしきもの人間」
河辺広男（医師）
「子どもにとって人間的自然とは」
山崎健（新潟大）

★ 第5回研究所研究集会

- 1、期日 1992・5・23～24
- 2、土地改良会館
- 3、テーマ 「子ども最優先の原理とは」
- 4、内容

基調報告 「『子どもの権利条約』の批准と運動展開」 八木三男（所長）

記念講演 「子どもの生きる力と自立・・・
今、大人は何をしなければならぬか」
石田一宏（精神科医）

特別報告

- ①「おやこ劇場で育ったわたしたち」 大沢てつや（高校生）
- ②「教育と緑と自然」
石川学（敬和学院高）

分科会

- ① [登校拒否と家庭・地域・学校]
「明鏡高校の不登校生徒の実態とその考察」
熊谷直樹（明鏡高）

② [どの子どもみんなわかりたいのに]

「算数教科書と子どもの学力」
岡野勉 (新潟大)

「新教科書と子どもの学力」
片岡 (所員)

③ [子どもの生活と意見]

「心配な子どものからだと健康」
関川智子 (医師)

「子どもの生活と意見」
立石文 (高校生)

★ 第6回研究所研究集会

- 1、期日 1993・2・20～21
- 2、会場 ニュー越路・中央公民館
- 3、テーマ 「『豊かさ』の中の子どもたち」

4、内容

基調報告 「人間の破片ではなく」
一人権の国際化と日本の子どもたち
八木三男 (所長)

記念講演 「『豊かさ』の中の子どもたち」
正木健雄 (日本体育大)

特別報告

①「学校五日制と行政」
桑原加代子 (津南町議会議員)

②「こまくさ乳児園の子ども」
こまくさ乳児園職員—スライド—

分科会

①「豊かさ」の中の家庭
木村隆利 (所員)

②通知表が変わった～新しい学力観ってなに?～
片岡弘 (所員)

③学校五日制と行政 小熊隆 (所員)

パネルディスカッション

テーマ「『豊かな国』の学校五日制」
五日制と子どものスポーツ

山崎健 (新潟大)

学校五日制の中で、学校は地域の中で何をするか
高橋武昌 (南中野山小)

イギリスの学校時代

エイドリアン・コーエン (英語指導助手)

親として市民としてみる学校五日制
小林裕子 (主婦)

コーディネーター 矢野教 (新潟大)

★ 第7回研究所研究集会

- 1、期日 1994・2・19～20
- 2、会場 ニュー越路
- 3、テーマ 「3割の子どもがわかればよいか」～混迷を深める学校～

4、内容

基調報告 「新しい学力観」とはなにか
八木三男 (所長)

記念講演 雪国の子どもたち
—新潟県の文学風土—
杉みき子 (児童文学作家)

特別報告

①通知表をこのようにしてつくった
霜野好克 (磯部小)

②中学校における「新学力観」
鷺頭靖夫 (弥彦中)

分科会

①幼年・小学校
阿部初江 (こまくさ乳児園)
末武知佐子 (鑑郷小)

②中学校・高校
新しい内申書と業者テスト「禁止」
は何をもたらしたか
木村哲郎 (中学)

三ッ井富士夫 (高校)
③特別分科会 ～杉みき子さんを囲んで～

一人ひとりの「読み」の違いを保障する指導を

桑名紀子 (小学校)

秋山義雄 (小学校)

2. 共催・協賛のシンポ

名 称	開 催 日	テ ー マ と 内 容
国際児童年「新潟シンポジウム」 主催：国際児童年・1979年9月23日 主催：「新潟懇話会」 後援：新潟市・新潟市教育委員会・新潟日 新潟放送等 <今教育の現場で>新潟日報事業社刊1981.7) 地域民教全国交流新潟集会 ～地域から日本の教育を考えるシンポ (県教育研究協議会 ・1984年11月23～25日 県実行委員会共催) <「臨時増刊-N0.10」> 米・食糧制度をめぐる研究・交流集会 農業農協問題研究・1989年11月25～26日 会・農村問題懇話会 共催、研究所後援	ところ：新潟大学医学部第一講義室 テーマ：「新潟の子どもの現実と教育・環境を語る」～ たくましく賢く心、豊かなこどもを育てるために 1. 現場からの報告 ①保育の中野からだづくり(須貝淑子) ②地域・父母と学校が一体となって(木村隆利) ③職業高校の現状と課題(本田敏彦) 2. 学者文化人からの報告 ①教師になる学生に望む(是沢三郎) ②自然生態と技術教育(長崎明) ③障害児の早期発見と早期教育(林万里) 3. 教育・環境に関する補足報告と討論 ①水の事故から子どもを守る(足立定夫) ②私学の現状と課題(本間藤四郎) ③受験校における真の学力(八木三男) 参加者：保育園・幼稚園・小中高大の教員・医師・弁護士・市 民ら100人参加 テーマ：「子どもと地域を大切にする学校づくりをめざ して」 シンポジウム：「一人一人の子どもを大切にする子育て・教育」 パネラー：八木三男(村上高校)、足立定夫 (弁護士)田中孝彦(東経大)、三上満 (都教組教文部長) 分科会 1. 乳幼児の子育てと発達 2. 非行・校内暴力と学校 3. 子ども・青年の健康づくり 4. 学力の発達と学校の役割 5. 豊かな人間形成をめざす生活綴り方 6. 地域教育運動の現状とこれから 講演：「米・食糧制度をめぐる争点と国民的課題」 講師：河相一成(東北大学教授) 各会からの発言	

名 称	開 催 日	テ ー マ と 内 容
第5回地域づくり教育・文化運動 全国交流集会 (集会実行委員会) <「教育情報」N0.25>	・1989年12月9～10日 参加者数：233名 (内県外1郡14県61名)	ところ：ホテル湖畔 テーマ：「むらから・まちから子育てを考える」 記念講演：長崎明「新潟県の農村・農業と教育」 基調報告：八木三男「新潟で日本の教育を考える ～にいがた県民教育研究所と教育運動」 分科会：「情報」25号参照 1. 学校と教育・教職員と父母の子育て共同 2. 地域づくり・農業と子どもの発達 3. 地域変動とこどもたち 4. 改訂学習指導要領と「臨教審」体制下の 学校教育 5. 地域の子育て・教育運動と子ども組織 6. 人間発達と労働組合・生協運動が果たす役割 分散会： 1. 新潟水俣病闘争に学ぶ 2. 研究所活動・民間教育研究の交流

<p>公開シンポジウム (民主教育研究所との共催)</p> <p><関連「教育情報」NO. 42> 参加者110名</p> <p>輝く子育て・教育新潟の集い (アーベルの会・学童保育・新潟市市教組・民教など実行委員会)</p> <p>「総合学科」研究集会 (公立高教組と共催)</p> <p>緊急教育シンポジウム (実行委員会)</p> <p>入学前「子育て」シンポジウム (新潟県保育問題連絡協議会共催)</p> <p><『教育情報』NO. 59></p> <p>高校統廃合を考えるシンポジウム (考えるシンポ)</p> <p><『教育情報』NO. 60></p> <p>第6回登校拒否・不登校問題全国のつどい (協賛)</p>	<p>・1995年6月24日</p> <p>・1996年12月15日</p> <p>・1997年2月11日</p> <p>・1998年12月12日</p> <p>・1998年8月9日</p> <p>・1999年9月11日</p> <p>・2001年8月4～5日</p>	<p>テーマ：「いじめ」問題と子どもの権利保障 講演：堀尾輝久・牧征名「子どもの存在と価値」 講演：正木健雄「子ども白書づくり」 報告者：西伸之「いじめの本質と克服」 足立定夫「学校の危機」 問題提起：八木三男「新潟県子ども白書」</p> <p>ところ：明鏡高校、500人の参加 講演：「歴史のリレーランナーたちへ」 講師：三上満（教育評論家） 10の分散会</p> <p>ところ：万代市民会館</p> <p>報告：板橋育夫「30人以下学級の実現」 長井芳朗「高校受験競争は緩和できるか」 堀川明子「不況下の教育づくり」 助言者：森田龍義（新潟大学）</p> <p>コーディネーター：広井茂道 話題提供者：高橋武昌 パネラー：五十嵐久子、西屋淳子、野口美智子 中田真理（まとめ：坂本典子）</p> <p>テーマ：「子どもと住民の立場から高校再編を考えるシンポジウム」 基調報告：長井芳朗（公立高教組） 特別報告：影治郎（島根・矢上高校） 「地域で小規模高校を守ろう」 パネリスト：橋爪法一（吉川町）田村美鈴（中学生の母）内山雄平（村上桜ヶ丘高）</p> <p>テーマ：「学び合おう、語り合おう、子どもたちをまん中に」 ところ：越後湯沢（ニューオタニ）</p>
---	--	---

名 称	開 催 日	テ ー マ と 内 容
<p>「花さかせよう！教基法」県民集会 <「教育情報」NO. 75></p>	<p>・2002年5月11日</p>	<p>「教育基本法を見直せば子どもは健やかに育つのでしょうか」 講演：梅原利夫 ところ：新潟市総合福祉会館</p>
<p>第27回「子ども人権」研究会 in 新潟 (「子ども研究会・同新潟準備会」) <関連「教育情報」NO. 76></p>	<p>・2003年11月15～16日</p>	<p>講演：梅原利夫「日本の行方と教基法」 講演：三宅晶子（千葉大）「心のノート」 報告1：中川祐子、小東友子、小林圭子、黒岩哲彦、中川明 報告2：近藤明彦、小泉弘子、 報告3：大峰仁・寺尾絢彦、足立定夫、津田玄児、花岡明生</p>
<p>教育基本法「改正」を考えるシンポジウム</p>		<p>ところ：ミナミプラザ</p>

<p>(考える実行委員会)</p> <p>「高校学区全県1区によって、新潟県の教育はどう変わるか」ー徹底討論(教基法改正を考えるシンポ)共催</p> <p><『教育情報』NO. 89></p> <p>「学校と地域を考える集い」佐渡地域づくり実行委員会主催</p> <p><「研究所通信」NO. 126></p>	<p>・2006年9月24日 参加者400名以上</p> <p>・2006年12月3日 参加60名</p> <p>・2012年7月22日 参加約40名</p>	<p>講演:「無言館」のこと 講師:窪島誠一郎 コーディネーター:木村哲朗(中学校) パネラー:窪島誠一郎・足立定夫・西伸之(教員)・郷扶二子(主婦)・山口結美(大学生)</p> <p>ところ:新潟市万代市民会館 講演:「高校学区廃止と子ども・親」 講師:太田政男(大東文化大学) 司会:小林朗(中学校) コーディネーター:太田政男 パネリスト:本間真由美(学校) 間宮茂(中学校) 五十嵐公(高校)</p> <p>ところ:佐渡市大橋羽茂 後援:佐渡市教育委員会 講演:境野健兒(福島大) (境野健司・吉田武雄・大瀧浩道・内山雄平)</p>
---	---	--

3. 地域教育懇談会

開催年月日	参加者数	地域とテーマ
<ul style="list-style-type: none"> ・1987年 ・1991年 ・1991年6月8～9日 ・1991年6月23日 ・1991年11月1日 ・1994年3月30日 ・1995年4月30日 ・1996年3月3日 ・1998年1月24日 ・1998年4月25日 	<p>参加15名</p> <p>参加23名</p>	<p>長岡「地域の教育を住民とともに語り合う会」 直り山団地（新潟市）・西蒲原地域、村上地域 津南町（桑原洋子） 「父親も参加する地域の教育運 糸魚川市（荒木貞夫） 「新潟の農業危機と教育」 「子ども の権利条約と地域の教育運動」 魚沼「第4回子育て・教育懇談会」 上越地区会員懇談会 八木三男「新学力観」、高田高陽 村上・岩船地区会員懇談会 細貝正人「学校五日制」 糸魚川・西頸地区教育懇談会 西伸之「いじめ・不登校 を考える」 第1回 長岡教育ネットワーク 会員懇談会 坂本典子、 木村隆利参加 第2回 長岡教育ネットワーク 会員懇談会 「長岡の人材教育」助言者：山崎健、 ところ：宮内福祉センター</p>

4. 会員制教育研究所交流研究会

1991. 7. 29～30	於新潟会館	<p>○第1回 八木三男・小嶋昭道（滋賀民研）の呼びかけ で開催 問題提起：八木三男「教育研究所と地域教育運動」 活動報告：東海高等教育研究所、三重民間教育研究所、 滋賀民主教育研究所、信州の教育と自治研究所、 北方教育研究所設立準備会、千葉県教育文化 研究センター、あいち県民教育研究所、 東京民研（都教組立） 県外21名、新潟12名参加</p>
2005. 11. 13～14	村上・割烹「松浦屋」 はまなす荘	<p>○第7回（2004年実施予定中越震災で1年延期） ○第7回 会員制教育研究所全国交流会 活動報告：あいち県民教育研究所、いしかわ県民 文化センター、岐阜県民主教育研究所滋賀民主 教育研究所、山形県教育と文化研究会議 信州の教育と自治体研究所, 民主教育研究所 講演：「希望を託せる若者の力強さ」 ～中越大震災救援活動の経験から 講師：なかむらみのる（作家） 参加20名</p>